



大原中便り No. 4 - 1

発行：校長 石原昌英

電話：0980-85-5352

1. 3年体験ダイビング

島立を見据えた3年生が郷土の自然を体感するため6月7日(火)に西表島西部の海でシュノーケリングと体験ダイビングを行いました。網取りの透き通った海に感動しつつも船から飛び込んだり、海中ではインストラクターが丁寧にサポートしてくださり、珊瑚礁とカラフルな熱帯魚等、西表島の美ら海を満喫することが出来ました。マンツーマンでサポートしてくださったインストラクターの皆様方、ありがとうございました。



- 魚と同じ目線になれるダイビングはシュノーケルと違って洞窟を探検しているような気分になり違う世界にいるようでとても楽しかったです。もっと早くダイビングの魅力に気づきたかったです(笑)。(多宇志琉)
- 体験ダイビングでは初めてのダイビングということでいろんな心配はありましたが、ダイバーさんのおかげで耳抜きもできたたくさんの魚を見ることができました。この貴重な体験を活かして頑張っていきます。(上原琉輝)
- 楽しみだった体験ダイビングでは機器の扱いや呼吸の方法を知り、耳抜きでは不安はあったけど2メートルぐらい潜ったらぜんぜん痛くなく嬉しかったです。これからの海洋教育学習に活用していきたいと思います。(高松俊巴)
- シュノーケリングはやったことはありましたが網取りは今まで見て来た海の中で一番キレイでした。ダイビングは初めてで少し恐怖感もありましたがインストラクターの皆さんの楽しい会話のおかげで楽しかったです。(上條紘人)
- シュノーケリングからダイビングまでを自分たちのペースに合わせ分かりやすく、優しくサポートし、時には笑わせてくれてとても面白かったです。魚を見てすぐに出てくる知識はすごいなと感心しました。ありがとうございました。(金田八笑)
- 初めての体験ダイビングでしたが皆さん面白くとても楽しかったです。ダイビングをする際、少し怖いなど不安はありましたが、インストラクターに丁寧に教えてくださり、なかなか潜れなかったときも私のペースに合わせてくれ安心して楽しみました。ダイビングで得た知識を海洋教育に繋げていきたいと思います本当にありがとうございました。(上原秋花)
- 私はもともと、海や山などの自然の遊びが好きではありませんでした。シュノーケリングとダイビングを体験したことによって西表には素敵な海があるということが分かりました。私は大人になったら西表に戻ろうと思いました。クラスメイトのインストラクターになってくれた皆様、本島にありがとうございました。来年の後輩達もお願いします。(亀井愛梨)
- 度付きのメガネと浮力の高いウェットスーツに驚きました。シュノーケリングは黒いクマノミを初めて見て驚きました。ダイビングでは海底を触ることができたり様々な魚を目の前で見たり初めての体験が嬉しかったり楽しかったです。ダイビングをする機会があればもっと泳いで見られなかった魚たちを写真でとりたいです。ありがとうございました。(中村幸桜)

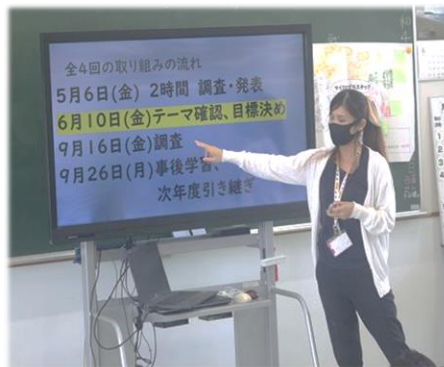
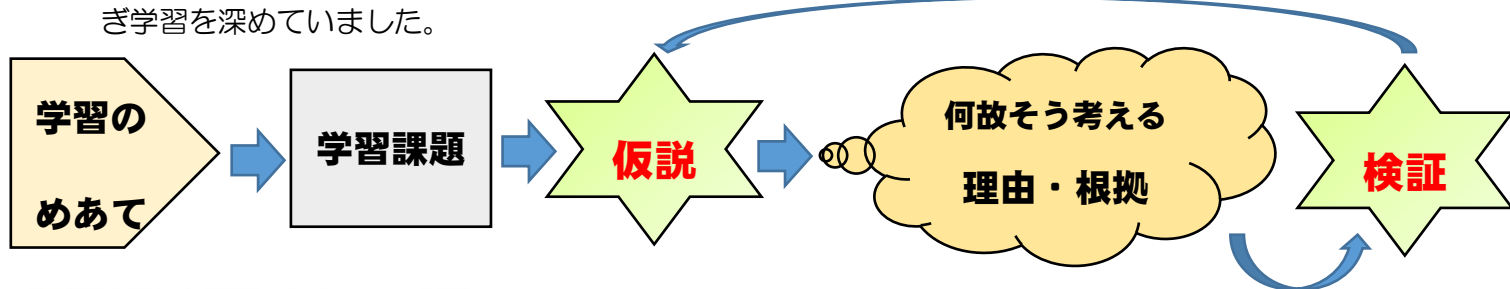


大原中便り No.4-2

発行：校長 石原昌英
電話：0980-85-5352

2. 海洋教育（テーマの仮説設定）

竹富町教育委員会が推進している「海洋教育」について、本校では今年度から総合的な学習を中心に生徒会活動とタイアップし「海洋教育」に取り組んでいます。6月10日(金)の5、6校時には前回調べた「マイクロプラスチック」について、身近な課題として「西表島の貝や生物を解剖し、どれくらいプラスチックを食べているのか」とのテーマに仮説を立て、何故そう考えるのか理由を考えレポートにまとめる探究学習を行いました。波照間碧先生が講師を担い、欠席した生徒が授業に参加できるようオンラインでつなぎ学習を深めていました。



(例)

仮説

理由

検証

西表島に生息している魚介類の体内(内蔵等)に少量なりともマイクロプラスチックが蓄積されているはず？

マイクロプラスチックの粒子を小魚、貝類、海藻に付着したのを食べている。海面、海中、海底などに漂っているから。

網で魚を捕獲し捕った魚を解剖。マイクロプラスチックが体内に存在するか確認！

